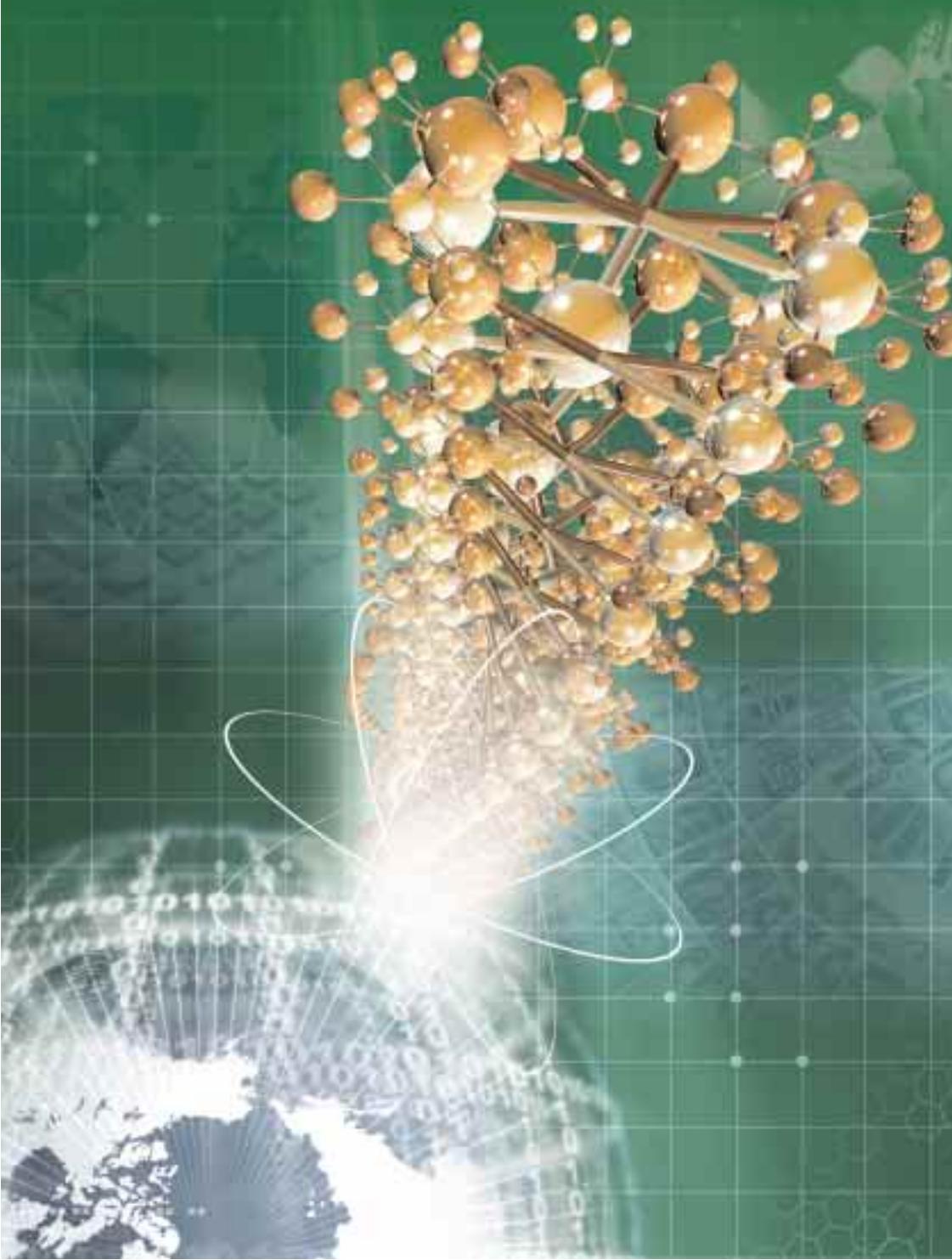


総合資金証券管理システム Siatol®-NE

信頼のスタンダード

UNISYS



総合資金証券管理システム「Siatol®-NE」登場。

スタンダードの進化

金融新時代の機能要件を装備した
総合資金証券管理システム登場。

証券決済制度改革に代表される市場インフラの整備進展にともない、市場参加者は新たに生じる業務プロセスへの対応が求められています。また、規制緩和の拡大を背景に金融技術の進歩が新たな商品の登場を促し、従来の枠組みで全ての商品を捉えることは難しくなっています。

一方、金融機関は資産の運用と管理に携わる組織や体制を再構築することにより、コスト構造やリスク構造の改善を進め、さらなる合理化の実現やオペレーションコストの低減を図る必要性が増しています。これらの動きと並行し、ハードウェアの高性能化・低コスト化やネットワーク技術の発達など、IT技術はとどまることなく進化の道を歩んでいます。

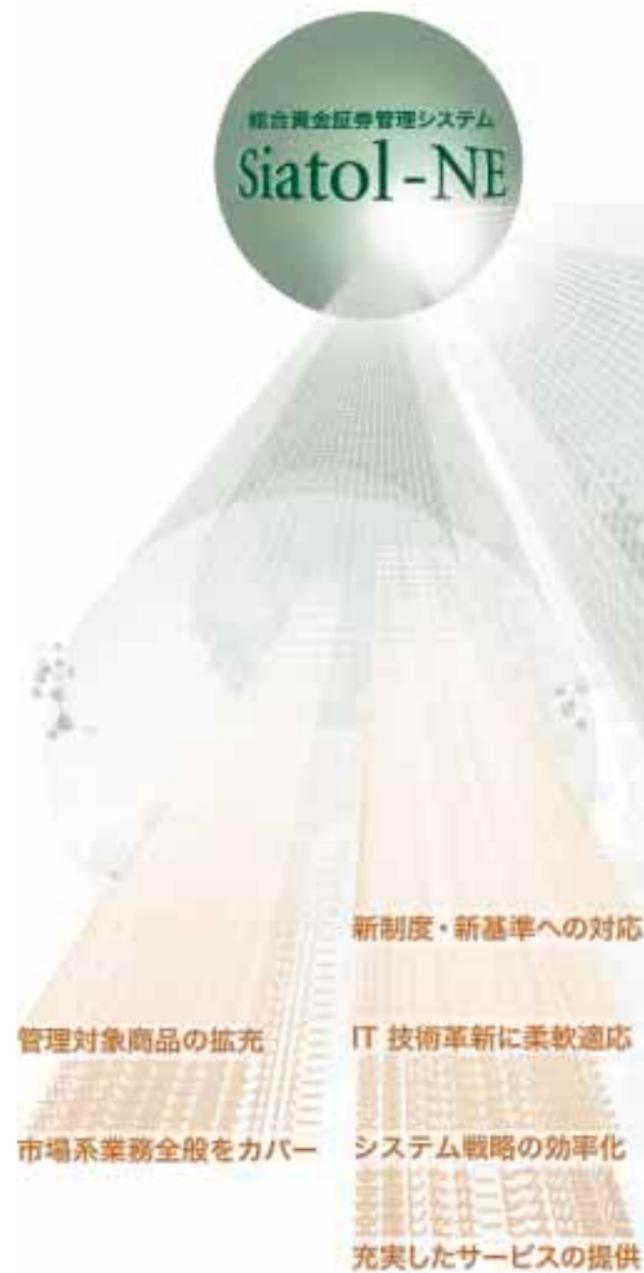
日本ユニシスは金融機関を取り巻くこれらの環境変化を鑑み、資金証券系ソリューションを大幅にリニューアルし、新時代の機能要件を装備する総合資金証券管理システム「Siatol-NE」を新たに開発しました。「Siatol-NE」には長年培った業務ノウハウやシステム開発・保守に関する実績に加え、次世代金融ソリューション体系「UNIFINE™」に基づく最新の開発技術が活かされています。また、オープンミドルウェア「MIDMOST®」の採用によりシステムの堅牢性と安全性を確保するとともに、新製品・新サービス・新技術にも低コストで柔軟に対応します。

「Siatol-NE」は、金融新時代の諸要因に的確に対応した最新の資金証券管理システムです。
スタンダードは、時代とともに進化を続けます。

「Siatol-NE」：総合資金証券管理システム (Security Information Management and Analysis Total Solution on New Environment)

「UNIFINE」：次世代金融ソリューション体系 (Unisys Financial Solutions on New Environment)

「MIDMOST」：オープン金融業務処理基盤 (Middleware for Mission Critical Open System)



「Siatol-NE」の特長

国内・海外の多様な金融商品を一元管理

金融市場のグローバル化・ボーダレス化や各種規制緩和の進展を背景に、資産運用における投資対象の拡大が続いています。多様化・複雑化する内外金融商品を横断的かつ一元的に管理することにより、資金証券管理業務の合理化・効率化に寄与します。

業務機能のオ・ルインワン化を実現

金融機関の市場関連部門で必要とされるフロント・ミドル・バックオフィス機能を網羅し、資金証券業務全般をカバーします。また、各担当部署の業務範囲と職務権限を明確にすることで、職責分離と相互牽制が可能な内部管理プロセスの確立を支援します。

新制度・新基準に対応する機能を装備

証券決済新制度や新様式のディスクロージャへの対応など、資金証券管理業務における事務処理の流れが大きく変化しています。電子化・ペーパーレス化への対応など、新たに必要とされる機能を装備することで事務処理の円滑化を支援します。

オープンプラットフォームの採用

Windows®サーバをプラットフォームとして採用することにより、ハードウェアの導入と運用にかかるコストの低減を図り、WEB技術をはじめとする最新のIT技術への柔軟な対応を実現しています。

効率的なシステム戦略を支援

ニーズに沿ったサブシステムの組合せが可能のため、コンパクトで無駄のないシステム構築が実現できます。将来の業務範囲拡大はサブシステムの追加導入により柔軟に対応できるため、導入作業やコスト負担の軽減が期待できます。

安心と信頼のトータルサービスをご提供

開発、導入から保守まで一貫したサービスをご提供します。各種お問合せや障害時はSiatolコールセンタにおいて迅速に対応します。また、制度改正対応や機能拡充を随時実施し、システムのレベルアップをご提案します。

「Siatol®-NE」。それは資金証券業務のオールインワン・ソリューション。

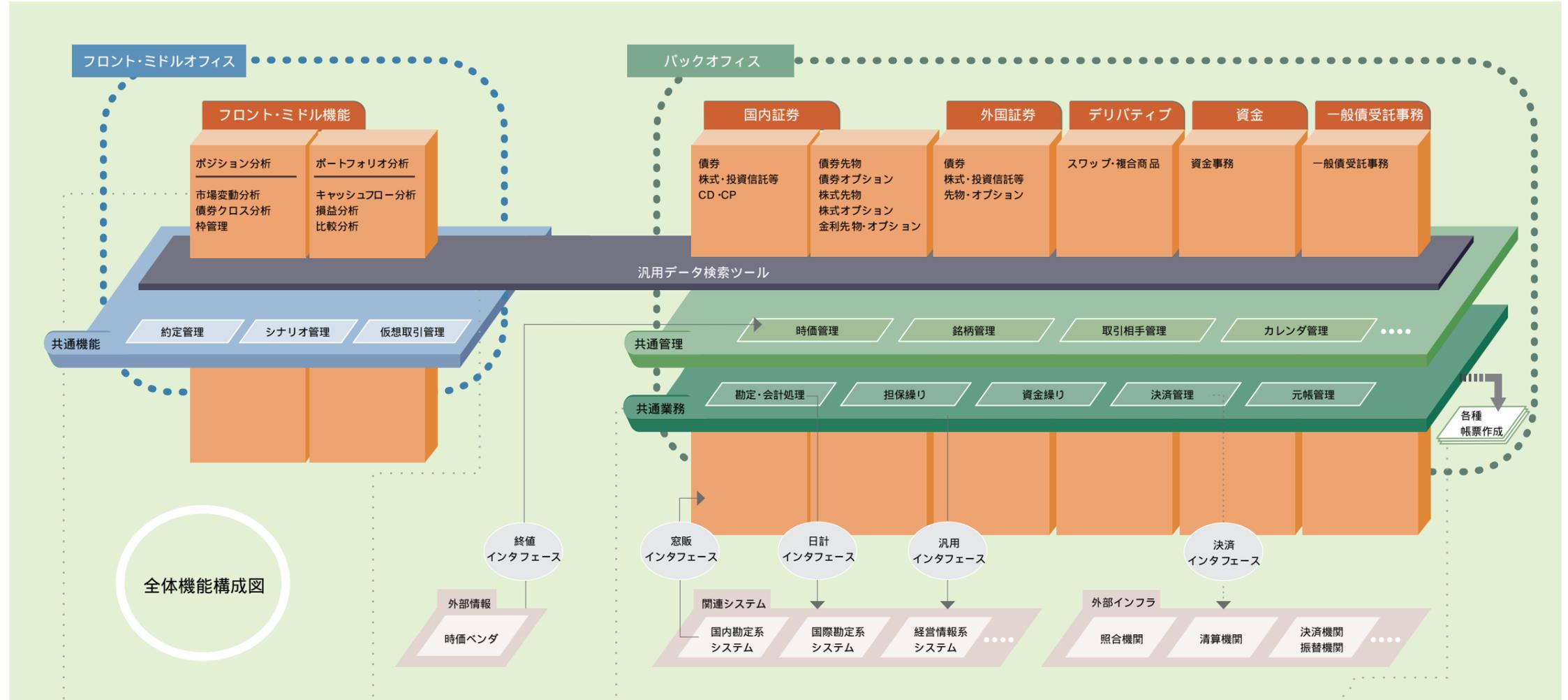
多様な管理ニーズに対応

管理対象商品

国内証券に加え、外国証券、内外先物・オプション、デリバティブ、短期資金など、多種多様な金融商品が管理可能です。さらに、将来の新品出現に備えたデータベース構造を採用し、拡張性を確保しています。
仕組債の管理機能を強化しています。利払条件や償還条件をはじめ、識別区分や販売会社コードなどの各種銘柄情報を管理項目として追加しています。

債券貸借・レポ・現先取引

債券貸借、レポ取引管理機能として、オープンエンド取引、マージンコール、貸借料・付利レート変更などに対応しています。貸借期間中の有価証券を時価により値洗いすることで、担保不足額などの算出を支援します。
現先取引管理機能として、オープンエンド取引、サブституーション、マージンコール、リプライシングなどに対応しています。現先期間中の取引相手ごとの取引合計額を把握することで、純与信額などの算出を支援します。



進化した機能

ポジション分析・ポートフォリオ分析

ポジション分析機能により、金利・株価・為替変動分析、債券クロス分析が可能のほか、取引先別や扱者別などの枠管理を行うことができます。
ポートフォリオ分析機能により、キャッシュフロー分析、損益分析、比較分析が可能です。
仮想取引入力による各種シミュレーション、約定管理、シナリオ管理などを行います。
分析結果は汎用データ検索ツールを用いたEXCEL出力により、容易に二次加工することができます。

汎用データ検索ツール

各サブシステムで汎用データ検索ツールが利用でき、データの検索や加工の利便性が向上しています。全サブシステムのデータベースを対象に条件設定ができるため、各種管理商品にまたがるデータの抽出や加工が可能です。
ディスクロージャ用資料や社内管理資料などの作成に必要な情報を、任意の切り口で検索し作表することが容易に行えます。

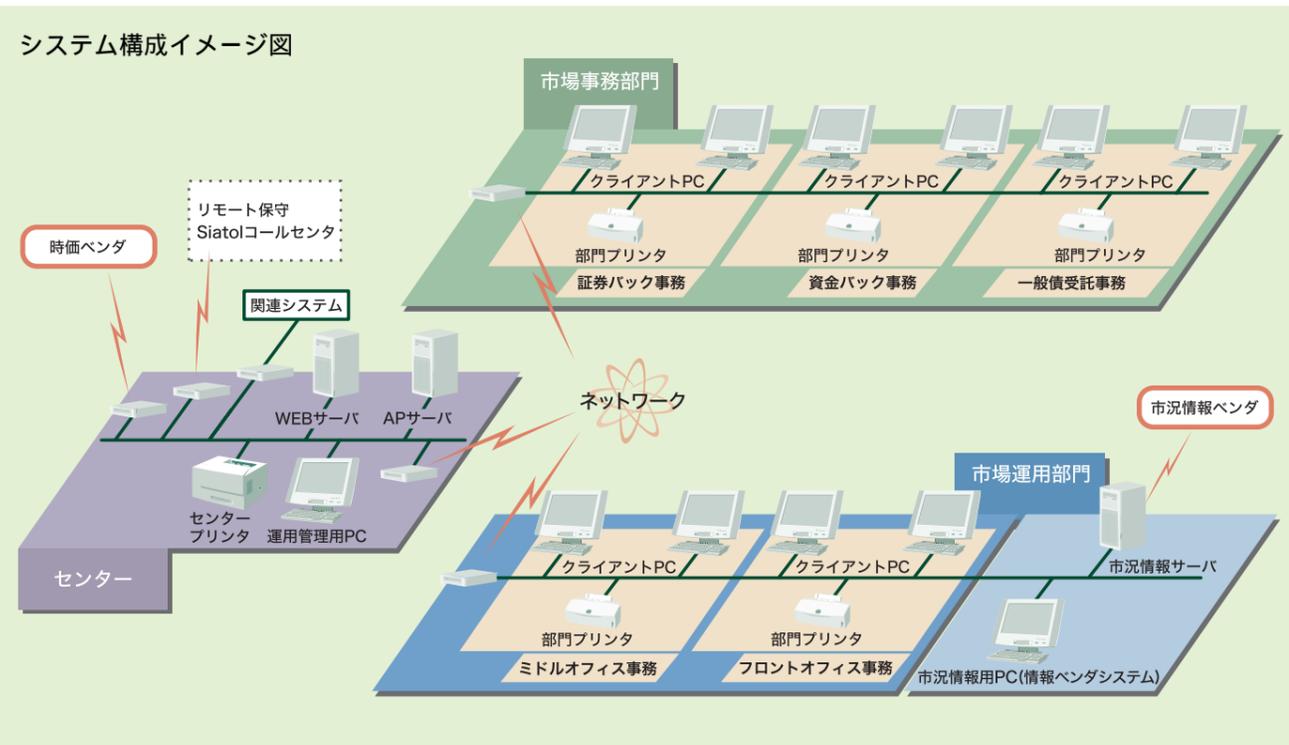
業務情報の一元管理

全ての商品を論理的に一つのデータベース上で管理するため、商品横断的なデータの抽出や加工が容易に行えます。
勘定・会計処理は、各商品を取りまとめて実施することが可能です。
担保管理を独立した業務機能として提供します。担保繰り、残高管理、差入、返戻に関する情報を一元管理することにより、オペレーション負荷の軽減を図ります。
短期、中・長期の資金繰りやキャッシュフロー・スケジュールを統合的に把握することが可能です。
決済情報を集中管理し、照合機関、清算機関、決済機関、振替機関や口座管理機関などとのデータ連携を図ります。

各種帳票の作成と出力

対顧帳票、法定帳票、報告帳票、行内管理帳票など、約400種類の定型帳票を用意しています。全ての定型帳票はペーパー出力に加え、PDFファイル形式およびCSV形式での出力を可能とし、社内業務におけるペーパーレス化を推進します。
帳票出力の運用方式はバッチ出力、端末出力、一括出力が可能です。条件指定により必要な情報のみ抽出・出力することも可能です。

「Siatol®-NE」業務プロセスを、効率的かつ堅実にバックアップ。



APサーバ :ビジネスロジックおよびデータベース管理を行うWindowsサーバ
 WEBサーバ :クライアントとの画面インタフェース制御を行うWindowsサーバ
 クライアントPC :WEBブラウザ、インターネットエクスプローラが稼働するPC

安心と信頼のトータルサービス

標準導入サービス

経験と実績に基づいたシステム導入・データ移行手順の標準化に加え、リモート接続による導入サービスにより、短期間・低コストのシステム稼働が可能です。

標準保守サービス

各種問合せや障害時の対応を支援するSiatolコールセンタには、業務・システムとも精通した担当者を配置しており、迅速かつ確実に対応します。

制度改正対応

制度改正や機能拡張のレベルアップを適宜実施します。これらのサービスは、リモート接続によりSiatolコールセンタから迅速にご提供します。

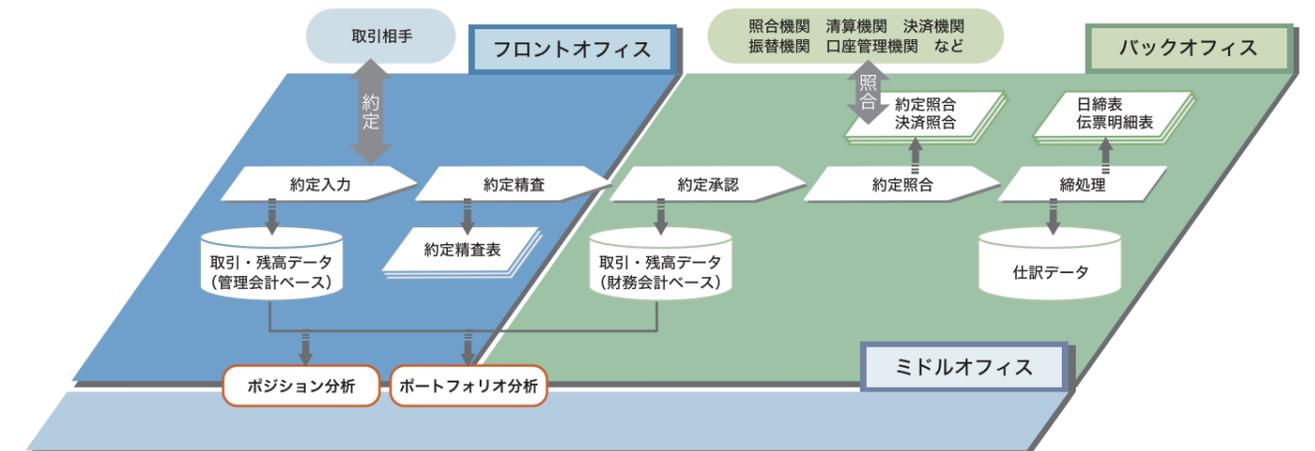
リモート監視サービス

サーバ機器、基本ソフトウェアおよびアプリケーション障害の迅速な検知を目的とするリモート監視サービスをご提供します。(オプション機能)

内部管理プロセスの確立を支援

約定入力、約定精査、約定承認のプロセスを経る業務フローを確立します。フロントオフィスによる約定入力時点で管理会計残高を更新し、バックオフィスによる約定承認を経て財務会計残高に反映される構造です。フロントオフィスとバックオフィスの業務分担や担当者と権限者の役割分担は、コンプライアンスレベルに応じて柔軟に設定することが可能です。業務運用の流れに従って、約定精査方法、勘定締単位、定型帳票の出力タイミングなどを設定することができます。

業務フローイメージ図



オープンプラットフォームの採用

Windowsサーバをプラットフォームとすることで、コストパフォーマンスの向上を実現します。オープンミドルウェア「MIDMOST」の採用により、オープン環境における基盤ソフトウェアの変化を吸収する柔軟性を確保します。業務はWEBブラウザを利用して行います。

システム監査への対応を強化

システムの運用やセキュリティはFISCの管理基準に準拠し、システム監査への対応を強化しています。ログインパスワード管理の強化や多種多様なシステムログの採取により、全てのサブシステムで統一された業務セキュリティー機能を確保しています。

財団法人金融情報システムセンター (FISC: The Center for Financial Industry Information Systems)

「Siatol-NE」画面イメージ



「Siatol-NE」帳票サンプル



動作環境

OS	Windows 2003
ミドルウェア	MIDMOST
DBMS	Oracle
ブラウザ	Internet Explorer

UNIFINEは日本ユニシスの商標です。
 MIDMOST、Siatol-NEは日本ユニシスの登録商標です。
 Windowsは米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標または商標です。
 OracleはORACLE Corporationの登録商標です。
 その他記載の会社名、製品名およびシステム名は各社の登録商標または商標です。

日本ユニ시스株式会社

お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲 1-1-1 〒135-8560
 電話 03-5546-4111(大代表)
<http://www.unisys.co.jp/>